

「新・宮崎市」が10周年を迎えました！

平成18年1月1日、宮崎市・佐土原町・田野町・高岡町が合併してスタートした「新・宮崎市」。新しい宮崎市になってから、平成28年1月1日で10年が経過しました。

【問】企画政策課 ☎21-1711、FAX31-6557

合併前の宮崎市は、面積が287.08km²、人口が約31万人でしたが、佐土原町・田野町・高岡町との合併、さらに平成22年3月の清武町との合併を経て、現在は、643.67km²、約40万人の都市となっています。1市3町の合併に際しては、新市のまちづくりの基本指針として、平成17年度から平成26年度までを計画期間とする『新市建設計画』を策定しました。

その後は、新しい宮崎市が一体的で均衡ある発展を遂げるよう、合併にかかる国や県の財政支援を活用しながら、計画に基づいてさまざまな事業を着実に実施し、生活基盤の整備や住民サービスの充実に取り組んできました。これからは、各地域の特色を生かしつつ、さらに魅力あるまちづくりを進めていきます。

新・宮崎市の将来像 躍動する太陽都市 …みやざき…

自然と調和し、健康・文化・産業をはぐむ魅力ある中核市として



温泉巡りが趣味で、石崎浜荘のころから月に3回ほど利用しています。施設も新しくなって気持ちいいですね。泉質も良く食事もおいしいですよ。

浮邊 渉さん

高岡交流プラザ
高岡西部地区に防災機能を備えたコミュニティ施設を整備。地域住民交流の場、防災活動の拠点として活用されています。

【開設】平成25年3月
【施設内容】多目的ホール、多目的グラウンド、集場・作業室 など



カラオケが好きなので、カラオケ講座を月2回楽しんでいます。ボランティア活動の拠点としてもよく利用しています。

日野 富佐夫さん

いざというときに近くに立派な病院があり心強いです。今後も地域密着のサービスで住民の力になってくださるよう期待しています。

小野 富紀子さん



田野病院
田野町域の医療拠点である市立田野病院を改築して整備。病院機能を強化し、地域医療・救急医療の充実を図っています。

【整備完了】平成24年3月
【整備内容】病室の増設(16室→19室)、MRIの導入、CTの更新 など



みやざきアートセンター
中心市街地に文化や芸術に触れることができるセンターを整備。知的好奇心に応えてくれる場、気軽に立ち寄れる憩いの場として親しまれています。

【開設】平成21年10月
【施設内容】アートスペース、キッズルーム、創作アトリエ など

子どもと遊べるスペースをよく利用しています。デッサン教室や展示会などいろいろな企画もあるので、楽しいですね。

斉藤 智美さん
大寿くん
ももちゃん

※計画に基づいて10年間に実施した事業の中から、代表的な4つの施設を掲載しています。

MINI CLIP

新市建設計画を基に、さまざまな事業を着実に実施しました。

■事業実績

	旧宮崎市域	佐土原町域	田野町域	高岡町域	計
事業数(件)	40	177	154	172	543
事業費(百万円)	16,188	41,268	20,198	25,496	103,150

合併後の新・宮崎市では、『新市建設計画』を基本指針として、平成17～26年度までに全体で543件、約103億円の事業を実施してきました。これによって、各種生活基盤の整備が進み、特に汚水処理に関しては、町域の普及率が飛躍的に向上しているほか、さまざまな住民サービスが充実しています。

■汚水処理人口普及率



(注) 公共下水道や農業集落排水施設、合併処理浄化槽などの汚水処理施設の普及状況を表す指標です。

新市建設計画の事業実績や宮崎市の変化などをまとめた『宮崎市・佐土原町・田野町・高岡町 合併後10年のあゆみ』を作成しました。市ホームページのほか、総合支所・地域センター・地域事務所などで閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。